

S I P次世代海洋資源調査技術推進委員会・調査検討ワーキンググループ（第3回）

議事要旨

1. 日 時：平成26年12月11日（木）10：00－12：00

2. 場 所：(独)海洋研究開発機構東京事務所 共用会議室

3. 出席者：

(議長) 浦辺 徹郎 プログラムディレクター (PD)

(SubPD/PD 代理) 浦 環 九州工業大学 社会ロボット具現化センター センター長、特別教授

(SubPD) 堀田 平 (独)海洋研究開発機構 理事

辻本 崇史 (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 理事

(委員) 池原 研 (独)産業技術総合研究所 地質情報部門 統括研究主幹

山崎 徹 (独)産業技術総合研究所 地殻岩石研究グループ 主任研究員

豊嶋 守生 (独)情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所

宇宙通信システム研究室長

田村 兼吉 (独)海上技術安全研究所 研究統括主幹

吉江 宗生 (独)港湾空港技術研究所 海洋インフラ技術推進センター 上席研究官

林 輝幸 (独)港湾空港技術研究所 企画管理部企画課 課長代理(代理出席)

越川 海 (独)国立環境研究所 地域環境研究センター海洋環境研究室 室長

吉田 弘 (独)海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム

AUV 複数機システム開発ユニットリーダー

大澤 弘敬 (独)海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム

ROV システム開発ユニットリーダー

木川 栄一 (独)海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム長

鈴木 勝彦 (独)海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム

成因研究ユニットリーダー

山本 啓之 (独)海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム

生態系観測手法開発ユニットリーダー

(オブザーバー)

内閣府、総合海洋政策本部、総務省、文部科学省、国土交通省海事局、国土交通省港湾局

(一社)海洋調査協会、次世代海洋資源調査技術研究組合(設立準備中)

(事務局)

(独)海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム 企画調整ユニット

4. 議事

(1) 各研究課題の実施概要説明

(2) 各課題の進捗報告

(3) 自己点検に向けた取組み

(4) その他

## 5. 配付資料

- 資料 1 - 1 海洋資源調査システム・運用手法の開発－航走を主体とした熱水鉱床探査－  
一般社団法人海洋調査協会
- 資料 1 - 2 海洋資源調査システム・運用手法の開発  
次世代海洋資源調査技術研究組合(設立準備中)
- 資料 2 - 1 「海洋資源の成因に関する科学的研究」の進捗概要
- 資料 2 - 2 「AUV の複数運用手法等の研究開発(高効率小型システム)」の進捗概要
- 資料 2 - 3 「AUV の複数運用手法等の技術開発(高精度観測システム)」の進捗概要
- 資料 2 - 4 「ROV による高効率海中作業システムの開発」の進捗概要
- 資料 2 - 5 「衛星を活用した高速通信技術の開発」の進捗概要
- 資料 2 - 6 「海洋生態系観測と変動予測手法の開発」の進捗概要(国立環境研究所)
- 資料 2 - 7 「海洋生態系観測と変動予測手法の開発」の進捗概要(海洋研究開発機構)
- 資料 2 - 8 「ケーブル式観測システム」進捗状況
- 資料 3 - 1 SIP 今後の課題評価及び次年度予算配分に向けたタスクとスケジュール  
【各課題共通ひな型】
- 資料 3 - 2 SIP 今後の課題評価及び次年度予算配分に向けたタスクとスケジュール  
【次世代海洋資源調査技術】
- 資料 3 - 3 研究代表者による年度末自己点検
- 資料 3 - 4 平成 27 年度計画書(案)
- 資料 3 - 5 SIP 次世代海洋資源調査技術 自己点検の進め方
- 参考資料 1 SIP 次世代海洋資源調査技術 調査検討ワーキンググループ構成員名簿
- 参考資料 2 SIP 次世代海洋資源調査技術推進委員会・調査検討ワーキンググループ(第 2 回) 議事  
要旨

## 6. 議事要旨

### (1) 各研究課題の実施概要説明

「海洋資源調査システム・運用手法の開発」の取組みについて、一般社団法人海洋調査協会及び次世代海洋資源調査技術研究組合(設立準備中)の各研究代表者等から説明があり、それらの実施内容に関する議論を行った。

### (2) 各課題の進捗報告

「海洋資源の成因に関する科学的研究」、「AUVの複数機運用手法等の技術開発」、「ROVによる高効率海中作業システム」、「衛星を活用した高速通信技術の開発」、「海洋生態系観測と変動予測手法の開発」及び「ケーブル式観測システムの開発」について、直近の進捗状況に関する報告が各研究代表者等からあり、進捗に関する議論を行った。

### (3) 自己点検に向けた取組み

内閣府及び事務局より、自己点検の進め方に関する説明があった後、自己点検の実施に関する議論を行った。

### (4) その他

- ・ 成果の取扱いについて議論を行った。
- ・ Oceans'15 オーガナイズセッション実施に向けての提案があり了承された。

以上